

平成29年度 就労準備支援事業従事者養成研修



【講義と演習⑪】

本人の状態に応じた多様なメニュー開発

2017年10月12日
(公財)沖縄県労働者福祉基金協会
沖縄県おしごと応援センターONE×ONE
岡野みゆき

【沖縄県労働者福祉基金協会】

▶労働者の福祉の向上

- ⇒ワンストップ相談センター ⇒ 働きたくても就職できない人
- ⇒ 沖縄の貧困
- ⇒ 「見て見ぬふりをしない」「できるところまでやってみよう！」
- ⇒ 「仕事と子育ての両立支援」⇒ 「子育てや介護の就職困難者支援」
- 「パーソナル・サポート・サービスモデル事業 第1モデル（2010）

生活困窮者自立支援制度モデル事業」 +
「パーソナル・サポート事業」沖縄県独自の取り組み（一体的）

▶生活困窮者自立支援事業

30町村（沖縄県）、2市（那覇市、沖縄市）

地域出張型

▶就労準備支援事業 + 被保護者就労支援事業 広域 支援員8名

30町村（沖縄県） + 3市（うるま市、豊見城市、沖縄市）

⇒ 2週間コース（北・中・南部）

▶受講者実績（例）昨年度参加163名 就労自立段階95名（就職39名）

職業訓練、障害者支援（地活、B型、就労移行、企業実習）

●この講座の目標

対象者の状態に合わせた支援メニューの作成の必要性を理解する。
就労準備支援プログラムの作成！

●この講座終了時には！

- ◎地域・対象者に合わせたメニューを創造したい！
- ◎できない理由ではなく、できる方法を探す！
- ◎仲間を増やす！ チームで！

- ★就労準備支援事業は、とても自由度の高い取り組みができる。(講習プログラム、企業実習、内職、その他)
- ★一緒にできる、日々の変化を見れる、グループの力、
- ★地域を巻き込める、安全・安心な社会縮図

Q: **皆さんの地域**の就労準備支援事業は？

相談者の特徴

長期失業や困難状態が続き、

- 生活リズムの乱れ
- 依存傾向
- コミュニケーションが苦手
- 自信喪失

意欲の低下

学習性無力感

自己否定、他者否定

- 精神面での不調
(適応障害・うつ等)
- 病気やけが

論理的な思考ができず、
認知のゆがみ

顔の見える連携

●生活困窮者自立相談支援事業

- ・必要に応じて早い段階から相談窓口と同席して就労準備支援への参加を促す

●被保護者就労準備支援事業

- (沖縄県、うるま市、沖縄市、豊見城市)
- ・現場の就労支援員と協働実施
 - ・参加者に合った運営

●社会福祉協議会

- ・地域での場所探し、ボランティア

●就労訓練事業所

- ・プログラム内「就労体験」

●沖縄県パーソナル・サポート事業

(各種セミナー開催や企業実習等、就職困難者に対する多彩な支援)

- ・利用者のつなぎ、セミナー等への相互乗り入れ、企業実習および求職活動における密な連携。出口支援強化の観点から

●ハローワーク (職業相談・紹介、訓練)

- ・「生活保護受給者等就労自立促進事業」

2. 生活困窮者自立支援制度の目指す社会像、目標、支援のかたち、基本姿勢

制度の目指す社会像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが自立と尊厳を確保できる地域社会の実現 ・ 社会的排除や孤立のない全員参加型地域社会の実現 ・ 生活困窮を生み出さない地域社会の実現 ・ 生活困窮状態からの脱却が可能な地域社会の実現
-----------	--

制度の目標

生活困窮者の自立と尊厳の確保

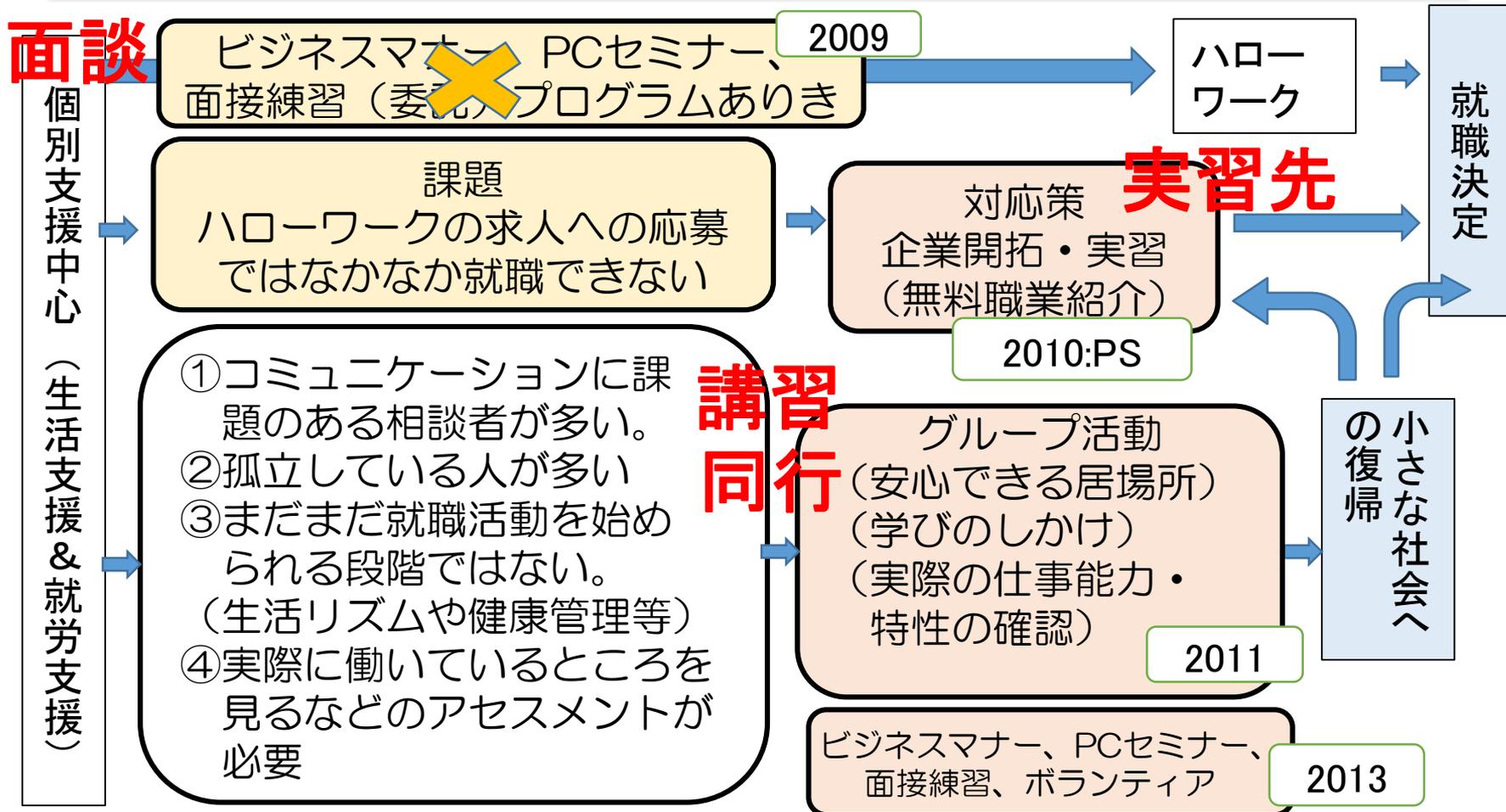
生活困窮者支援制度を通じた地域づくり

新しい生活困窮者支援のかたち

(1) 包括的な支援	生活困窮者の課題は多様で複合的である。「制度の狭間」に陥らないよう、広く受け止め、就労の課題、心身の不調、家計の問題、家族問題などの多様な問題に対応する。
(2) 個別的な支援	生活困窮者に対する適切なアセスメントを通じて、個々人の状況に応じた適切な支援を実施する。
(3) 早期的な支援	真に困窮している人ほどSOSを発することが難しい。「待ちの姿勢」ではなく早期に生活困窮者を把握し、課題がより深刻になる前に問題解決を図る。
(4) 継続的な支援	自立を無理に急がせるのではなく、本人の段階に合わせて、切れ目なく継続的に支援を提供する。
(5) 分権的・創造的な支援	主役は地域であり、国と自治体、官と民、民と民が協働し、地域の支援体制を創造する。

信頼関係の構築	家族を含めた支援	チームアプローチの展開
ニーズの的確な把握	8つの基本姿勢	さまざまな支援のコーディネート
自己決定の支援	社会とつながりの構築	社会資源の開発

■対象者の状態(課題等)に合わせて対応 多様な支援メニューの必要性



一人ひとりをしっかり見て、聴いて、やれろと信じて！
課題をクリアする方法を考え、取り組んだ結果⇒
支援メニューの増加

就労準備支援事業はいろいろ！

- ・就労準備講習(様々な種類のグループワーク)
- ・就労体験(企業実習)

基本は

個別アプローチ！

小集団の中で様々な活動の場を活用して効果を高める。

グループの効果！

矛盾を抱えて変わらない人

共同(協同・協働)⇒共感・違和感⇒気付き

⇒行動変容⇒徐々に根本解決へ向けて！

意欲がない／言い訳する 何がしたいのか分からない・・・

色々な生活、状態、段階、能力の人がいるから、

ルール：①質問やトイレは、いつでもどうぞ。

②相手の意見を否定しない。

③嫌な時はパスできる。

ルールは守る。信頼関係の下、伝える必要も。



就労準備
講習

人が変わるキッカケとなる・・・3つの感

安心感 ・ 信頼感 ・ 空気感



【就労準備講習 – 3つの機能 –】

連続した継続的関わり



個性(強み・特性)の発見



それぞれの支援へ



出番をつくる

(自己効力感・自己有用感・自己肯定感・自己受容)

人との関係で傷ついた人は、人との関係の中で修復

★様々な体験(楽しく)を通して可能性の幅を広げる

① キツカケ機能

② アセスメント機能

③ 訓練機能

支援する上で大切にしていること

自分の力だけでは自立することが難しい
⇒ 人や社会とのつながりの手助け！

1. 相談者の状況、訴え、背景を把握・理解し共感する
(信頼関係構築 ⇒ 応援者として認めてもらう・アセスメント)
 - ・社会との接点を失い、孤立しがち(失業や対人関係スキルの未熟さなど)
 - ・客観的に考えることが難しい。混乱している、思考のくせ(認知のゆがみ)
2. 寄り添い型支援(精神的な寄り添い・孤独感を無くす意)と問題・課題の認識
 - ・孤立感を払拭し、共に問題解決に取り組む姿勢
(ひとりじゃない。一緒にやっ払いこう)
 - ・本人が自らの課題・問題を整理、認識するよう支援する(気づきの支援)
3. 自己肯定感情を高め、自らが解決の主体となりうることを重視した支援
(本人の持つ能力の活用・能力を引き出す・または能力を身に着ける)
 - ・本人を認める ・エンカレッジ(勇気づけ) ・エンパワメント
(自身の力で問題や課題を解決していく力や能力を獲得すること)

支援者も要支援者も対等！ 支え合い！

就労準備講習の場の設定！

➤ 少人数制

様々な阻害要因（特性などを複数持つ方が多いため、目配り・気配り体制）

➤ 講義型 △ ⇒ 参加型 ・ 体験型 ○

（自己開示、承認、自己肯定感・自己有用感）

➤ プログラム式 △ ⇒ 半オーダーメイド式 ○ オーダーメイド

（個人個人の目標設定と変化に合わせた柔軟な対応）

⇒ 個別支援を小集団の活動の場で！

* できること、興味のあること、不安が少ないことからスタート！

能力・興味・価値観などそれぞれに合わせたメニュー

「スモールステップ」で強みを伸ばし、課題に挑戦する場（基礎能力の形成）

○ 毎回、具体的に「できたこと、向上していること」のフィードバック、
「ありがとう」と言われる場面を通して承認する場を繰り返す。

例えば就労準備講習の プログラム（各支援メニュー）

何だっていい！

体験してみる！
挑戦してみる！自分
の出番！
承認！
喜び！

◇経済的自立

◇日常生活自立

◇社会生活自立

◇就労生活自立

◇精神的自立（自己肯定感、自己効力感、自己決定）



就労準備講習に参加した方へのアンケート結果

○面白かった内容・ためになった内容

⇒ 人それぞれ

フィールド作業、企業見学、ゲーム、就労体験、調理実習、レクリエーション体操、人参販売、アイスブレイク、字の練習・・・

★畑仕事が楽しくて気分転かんにとても良かった。

もう一度やりたい。畑の収穫がたのしかった。

★雑談や余談がためになった。

★字の練習を継続してやりたい。

★わからない事がいろいろあって、ためになっている。

★ボランティアが一番ためになった。

【3つ“自立”の視点を意識したプログラム】

ひとり

- ▶ **日常生活自立** ⇒ 毎日定時開始による日常生活習慣づくり
- ⇒ 体ならし、体力づくり、フィールド作業、美化作業
- ⇒ 読み書き、家計管理など基礎的なワーク
- ⇒ 状況に応じてモーニングコール等での積極的な促し

数名

- ▶ **社会生活自立** ⇒ 対人・集団コミュニケーションスキルに関するワーク
 - ・ 認知、SST、カードスピーチ、伝達ゲーム等
- ⇒ 集団コミュニケーションスキルに関するワーク
 - ・ 協働ゲーム、調理実習等
- ⇒ ボランティアなど社会と関わりを促進する活動

小社会

- ▶ **就労生活自立** ⇒ 今後の自立を計画するワーク
- ⇒ 職業訓練ガイダンス
- ⇒ 企業見学、就労体験

3つの自立を意識した内容で作られたプログラム

生活リズムを整え、強みを見出し、本人が就労に向けて確かな手応えを感じることが重要であり、その基礎となる自己肯定感・自己効力感の醸成を促すべく、集中的なプログラムで伴走して支援する。

【就労準備講習の仕掛け】(補足資料)

- ▶ ⇒ 毎日同じ時間にはじめる
- ⇒ 毎日**日誌**を書く
- ⇒ 毎日**スタッフコメント**をつけて返す
- ⇒ 毎日**スタッフ間で振り返り**を行う
- ⇒ 参加者の**状況・状態に合わせてプログラムを組み替える**
- ⇒ **必要に応じて個別プログラムを追加**する
- ⇒ **アセスメント**を繰り返す
- ⇒ **一緒に昼食**をとる
- ⇒ 必要に応じて**送迎**する
- ⇒ 場合によっては**訪問**する
- ⇒ 場合によっては**アウトリーチ**する



★ 「講習」は社会体験の場。

★ 「講習」は目的ではない。

すべては参加者の「次の可能性」のために！

【きっかけ・アセスメント・訓練】

就労準備講習 日誌

氏名



2016年5月30日(月)	今日の講習: 午前、休む
*具体的な流れ・内容	・反動をつけない
1. 日誌の記入) 10:00~12:00	・呼吸を行う
2. 休む) 13:00~15:00	・オーバーストレッチ
3. 事前確認作業表	
4. 振り返り	

5週間コース
 ★ワーク以外で関わる時間も、「情報収集」や「再アセスメント」に繋がる大切な時間！
 ★1日の最後にはスタッフ全員で「振り返り」をして、翌日のアプローチに繋げる。
 ★1日約6時間×5週間の連続性。
 ★個別状況に応じたタイミング&見極め&アプローチ
 ⇒この仕組みが信頼関係の構築へ
 やってみようかな～スイッチ&モチベーション維持に！

*今日の目標 (今日の講習が終わった時、どんなことができていたらいいと思いますか?)

・

・

・

*目標の達成感 悪い | どちらでもない | 良い

|-----⊕-----|

*その他 (次の講習の目標、講習の中での気付き・スタッフへの要望など)

リハビリのモチベーションをあげて行きたいと思っています。

*目標の中で出来たこと

- ・90分7-7を集めて出来た
- ・ス7-7の多前を覚えることが出来た。

*できなかったこと

転倒の時に「はいはい」ことができなかった。

日誌は大切なコミュニケーションツール。
 これからの事、提案、承認の言葉…
 一人一人に向けて文字で伝えます。

スタッフから

★さん 初めまして!! 皆、最初は話さないですよ!! (今日のメンバーは、2回目の参加が多いからなので、慣れていたと思います😊) ★さんのペースで、少しずつ慣れて下さいね!! これから宜しくお願いします!! (運)

★さん 初参加、お疲れ様です。足のヤカ大丈夫ですか? 午後から参加されてうれしかったですよ!! 講習もスタートしたばかりです。少しづつ★さんのペースと一緒に楽しく取り組まねば!! 今日はお疲れ様でした!! (友希)

就労準備講習(2週間・5週間)の流れ

まとめ

○生活リズムの立て直しから参加する方

同じ時間にスタートすることから始め、リズムを取り戻す！

最初の週は、2時間／日からスタートし、徐々に通所の時間を長くするなど。

毎日起きて、毎日参加して、ご飯を食べて、体力をつけて、人と話して、力を合わせて、その先へ♪

自分だけでできること(朝起きる、休む時には連絡する、食事を取る)

→ 社会に一步出してみる(個人作業・他人と同じ空間にいる)

→ 社会で人と関わってみる(話す、同じ空間で一緒に作業する)

→ 共同で作業する(協力が必要)

→ コミュニケーション訓練

→ 仕事の現場に触れてみる(実習、体験)

→ キャリアプラン

【内容変更！】地域性に合わせて（補足資料） 目の前の相談者に合わせて、日々の変更

▶一人ひとりをしっかり見て！

プログラムの各メニューは、あまり変更しないが、内容は受講者の状況、状態に合わせてより良い支援という視点で変更あり。

目配り・気配り、声掛け、日誌などから、本人の自信に繋がること、課題への挑戦や克服への勇気づけや後押し、ここだ！と思うタイミングで関わる。セミナーは生もの！

日頃からのチームで共有が大切。

強みを発見 ⇒ 一人ひとりの出番づくり！

一人ひとり阻害要因は異なる。準備段階も異なる。

⇒ 対象者の状態に合わせた支援メニュー作成

就労準備講習がスタートする前に(補足資料)

- ①自立相談支援事業担当等との情報共有
(健康状態、障害要因、特性、意欲、課題、目標など)
- ②本人との面談(事前相談・顔合わせ)
 - セミナー説明
 - 参加の意思確認
 - 困りごとを確認
 - 講習を通しての目標(短期・中期・長期等)
- ③オリエンテーション
 - スケジュールやルール説明
 - ⇒ 受講開始

連続性のある講習の効果！（補足資料）

- 信頼関係の構築
- 居場所ができる ○仲間ができる
- 本人も自らの現状を様々な角度から確かめることができる
- 毎日のステップを見る、付き合うことができる
- 変化・進捗・習熟が実感できる
- 支援員にとって、本人状況のアセスメントができる
- 次の段階へ向けた緻密なスクリーニングができる

多様なメニューの効果！

パスあり
無理せず
相談

○初めての体験で気づきの大きなきっかけになることもある。

苦手だと思っていた、避けていた。だけど挑戦してみたことで大きな変化に繋がることも多い。（自己決定・自己選択！！無理強いはいしない！！）

■対象者に合わせた支援メニューの必要性

目の前の相談者一人ひとりに必要なことは何か？という視点で！ 支援メニューが増えた！！



コミュニケーションが苦手

椅子に座ってやるのは嫌

マイナス思考
(自責・他責)

内向的な人

あいさつ・(声を出す・目を合わせ)
【コミュニケーションセミナー】



・屋外に出て、集団の中での活動
・人と関わらないでもいい作業
畑・美化作業、ボランティア体験等



・コミュニケーションに課題
・思考のくせの修正が必要
SST・アサーション
【マイナス思考を変えるセミナー】



・自分のペースで屋内で個人作業
絵を描く・陶芸・字を書く
【作業療法的セミナー】



想いのマップ・カラーージュ(ほしい物)
【キャリアプラン】



に合わせて支援メニューが増えた
相談者の状態と興味・能力・価値観



(企業実習前漫画セミナー)
【就職準備セミナー】

地域性(受講者の状態、社会資源)によって支援メニューが異なる。

担当者制の個別相談 + セミナー担当との協働

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？（入り口として）

○対象者は？

入りやすさ：興味・能力・価値観・できる事・苦手なこと・
体調・体力・配慮が必要なこと・その他

①体力がある・動くことが好きな中年男性 ⇒

（例）畑作業、美化作業など

②孤立している中年男性 ⇒

（例）パソコンセミナー、料理教室、陶芸、
地域ボランティア（清掃など）

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？

○対象者は？

- ③人と関わるのが苦手・他人との関わりを避けている、
自信がない ⇒

(例) 絵を描く、陶芸、パン作り、畑作業、コラージュ、
コミュニケーション基礎編等

- ④就労可能なのに意欲が低い ⇒

(例) ボランティアで「ありがとう」と言われる体験、
セミナーでの出番、企業見学ツアー、企業実習等

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？

30代男性（両親と同居）
コミュニケーションに課題のひきこもり歴あり。発達障がいのボーダーライン？
お金を使いすぎる

体操

企業実習



ボランティア

畑作業

50代男性（一人暮らし）
社長経験者、事業が上手くいかず倒産。アルコール依存、うつ病発症

パン作りと販売

アルコールセミナー

コラージュ

陶芸

キャリアプラン

40代女性（一人暮らし）
パワハラや職場のいじめで退職。DV被害者経験あり

家計管理

清掃

コミュニケーション

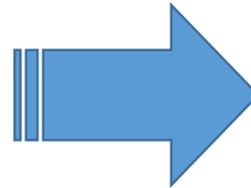
その他

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？

○メニューを分類

- 作業療法系
- 運動系(体を動かす)
- 依存症系
- 認知行動療法系
- コミュニケーション系
- ストレスマネジメント系
- キャリアプラン系
- ビジネスマナー系
- スキル(資格)系
- 知識系



居場所からスタートして
分類されたメニューの中
でもスモールステップの
しかけあり！



相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？

○パソコンセミナーと一口で言っても…

同じタイトルでもスモールステッププログラム！



第1ステップ

来ることから、休むときには電話、1人で作業(2時間)

第2ステップ

好きなときに来て練習(使いたいときは声をかける)

第3ステップ

ワード・エクセル・インターネット興味を広げる

第4ステップ

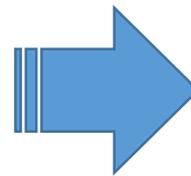
入力メインで「仕事発注(模擬職場体験①)」

第5ステップ

2人1組で調べ物(好きなテーマ)と発表

第6ステップ

仕事分担「仕事発注(模擬職場体験②)」



無理なく徐々に就労
への力がつく流れる
メニューの多様性.
参加者に合わせて
プログラムを作成!
自己肯定感
UP!

どんなセミナーのテーマがあるのか・・・（補足資料） 同じセミナータイトルでも内容、目的は異なる。

日常生活自立支援

〔 外に出てみよう
・個人ワーク 〕

クリニカルアート（絵を描く）

PC（ステップ①②）

清掃①・花植え①・畑作業①

（植えつけ、収穫他）

調理実習①・家計管理①

食の大切さ①

ドリームマップ

（欲しいもの目標をコラージュ）

片づけ講座・ボランティア①

手びねり陶芸・ストレッチ

アルコールとの付き合い方など

社会生活自立支援

〔 集団の中に入る
→役割を持つ 〕

PC（ステップ③④⑤）

清掃②・花植え②・畑作業②

調理実習②・食の大切さ②

家計管理②・救命講習

インプロ①

SST①

（生活編コミュニケーション訓練・ロープレ）

認知行動療法

マイナス思考からプラス思考へ

パン作り&販売&接客体験

ボランティア②など

就労自立支援 (就労をより意識した段階のセミナー) (補足資料)

PC (ステップ⑤)

SST② (仕事編)
自己理解セミナー
職歴の振り返りセミナー
企業実習前セミナー
求人広告読み方セミナー
仕事理解セミナー
未来プランニング
身だしなみ講座
マイナス思考からプラス思考へ
パン作り&販売&接客体験
ボランティア③
企業実習見学ツアー前講座
就労定着準備セミナー

PC (ステップ⑥)

求人の探し方セミナー
企業実習前セミナー
志望動機作成セミナー
面接マナー (面接練習)
電話応募セミナー
講和「働くとは」
認知行動療法的セミナー
企業実習見学ツアー
就労体験
企業実習

複数センターの協働
自立相談支援事業・他機関との連携の視点も！！
チーム支援

セミナーメニュー

受講生の興味・適性・能力に合わせて企画 (段階別)

* 地域によってセミナー内容異なる

* プログラムは相談者の状態に合わせて

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

1日の関わり方(例)



9:00 送迎

毎日、モーニングコール！
送迎中は情報の宝庫♡

10:00 講習スタート
日誌記入 (目標設定)

午前ワーク ~休憩

(例:ウォーキング、学び直し、花植え...)



12:00 昼食

参加者もスタッフもリラックス～♪
タバコ、雑談、将棋、居眠り...

13:00 午後ワーク ~休憩
(例:協働ゲーム、企業見学、職場体験...)



14:45 日誌記入 (振り返り)



15:00~ 送迎

ワークの反応を聞くチャンス！
疲れ具合も見える！



就労準備講習 日誌

2016年 月 日 (月)

今日の朝顔:晴 曇り 雨 雨降りのち曇り

※目標設定(誰れ・内容)

1.日誌の記入 2.ウォーキング 3.将棋 4.雑談 5.居眠り

※今日の目標 (今日の講習で何をしたいか、何を学びたいか)

※目標の中で出来たこと

※できなかったこと

※その他 (次の講習の目標、講習の中で気づいたこと、スタッフへの要望など)

スタッフから

☆☆ 素晴らしい!! 皆 最初の講習で頑張った!! (今日の講習は2日目の講習が多かったので、慣れていたと思います) ☆ 先生、お話を聞かせてくださり、ありがとうございます!! ☆ 先生、お話を聞かせてくださり、ありがとうございます!! ☆ 先生、お話を聞かせてくださり、ありがとうございます!!

就労準備講習は、 同じ場を共有しながらの **個別** 自信回復体験（経験し直し） 意欲換気 プログラム

対象者：傷つき体験、うまくいかないことが続いている人も多い

就労準備支援事業に参加したいと意欲的か？

参加してもらうにはどんな動機づけが必要か？

挑戦するには…… 敷居を低くする。



安心感

プラスに
なりそう

楽しく

成功体験

【就労準備講習 目的と活用法】 (補足資料)

一人ひとりに合わせて、スタッフ(自立支援事業担当も)と一緒に 講習期間の目標設定！

毎日の目標設定は、各自で立てる。

Aさん：個別アプローチを小集団での活動の場で行い、スモールステップで挑戦。承認され社会性を身に付けてほしい。

Bさん：コミュニケーション力はあるので、集団活動の中で生かすことで意欲換気に繋がりたい。

Cさん：一人で社会参加する前に、企業実習へ繋がられる状況か、社会性、体力などを確認したい。

就労準備講習に参加した方へのアンケート結果

(補足資料)

【講習前後の変化】

人との違いを当たり前前の事として考えれるようになった。体力の調整ができた。受ける前よりだいぶ体力、集中力等がついたように思います。友達がふえた事。バス通勤が楽しみにになった。スタッフや受講生の皆さんと出会えた事。家を出る時はイヤだと思うがセミナーに行けば楽しくなる。楽しくなった。なし

【自分にとってこれから必要なもの】

リハビリ、体調管理、体調調整、体力向上。

できる仕事等を早く探して、生活面を安定させる為に少しでも行動に移せるようになりたいと思います。

良い仕事にめぐり合って、楽しく、働きたい。

いろいろな仕事紹介等があれば参加したいです。

文字を分かるようにきれいに書く。履歴書作成。

家、金、資格、愛、仕事、病院、パソコン、友達、肉、リハビリ、講習。

参加前、参加後の状況

(本人記入アンケートを基に作成)※「」内は記入内容(補足資料)

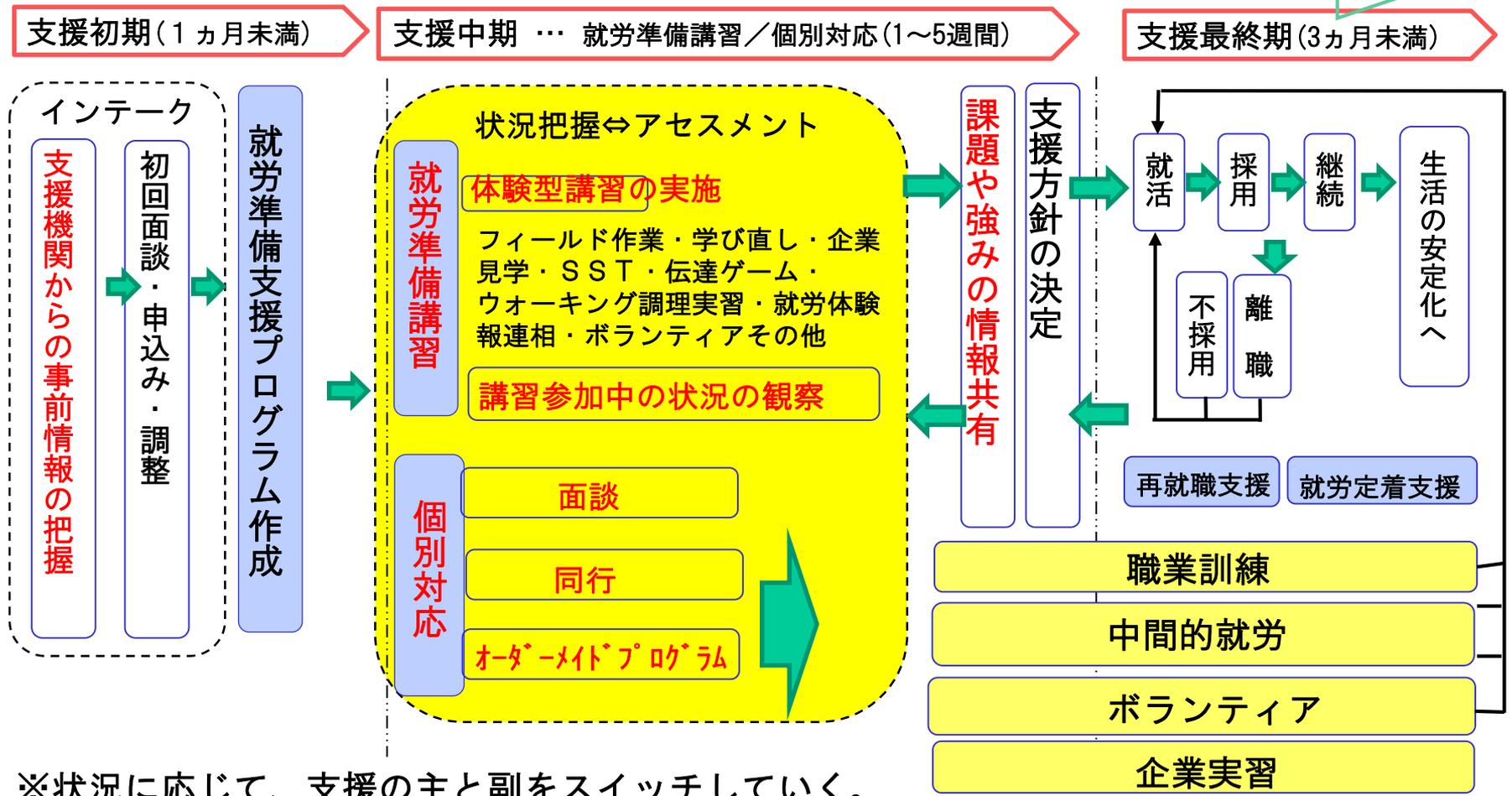
	参加前	参加後
Aさん 50代、男性	「もっと元気になればいい」	参加前目標の達成 「笑いが増えた」
Bさん 20代、女性	「生活リズムが整っていたらいい」	参加前目標の達成 「少しは起きれるようになった」
Cさん 40代、女性	「就労に意欲が湧いて職につけたら最高だと思います」	就労意欲の向上 「前に比べて、すごく元気になった」
Dさん 60代、男性	「週2～3日のアルバイトを見つけない」	参加前には想定していなかった事柄の達成 「字を覚えることが出来た」 「字を書くことが出来て良かった」
Eさん 30代、男性	「今より心が落ち着いて、少しでも周りの人達とコミュニケーションが取れるようになってほしい」	参加前目標の達成 「気持ち少し明るくなった」

スタッフは〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇！



〇〇は、参加者！

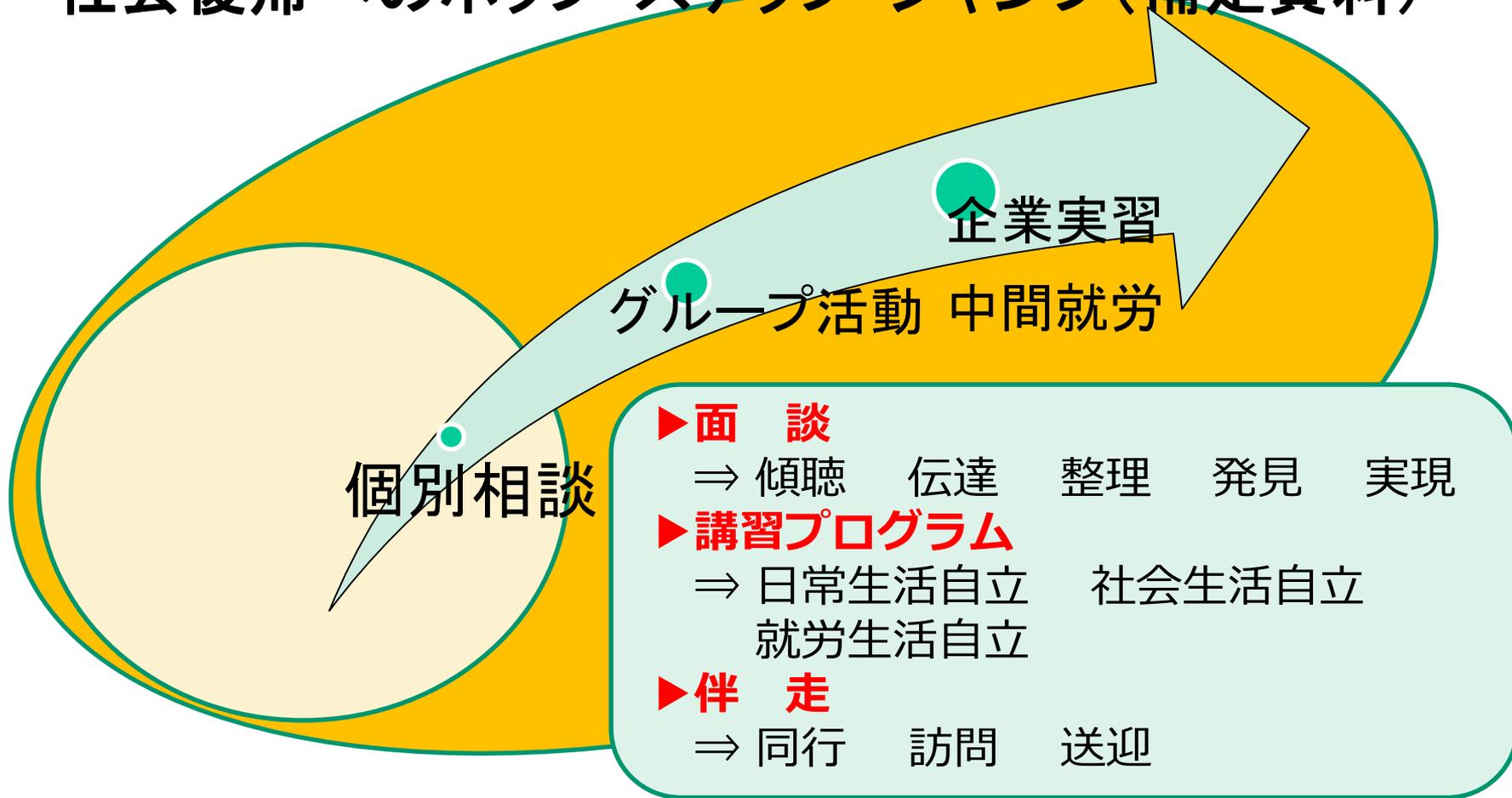
就労準備支援事業 ～支援の流れ～ ※6カ月～1年(補足資料)



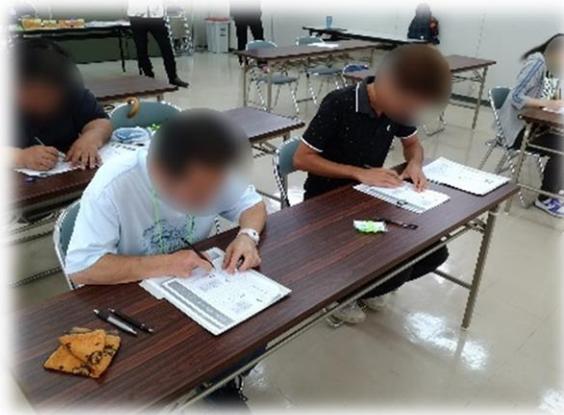
※状況に応じて、支援の主と副をスイッチしていく。



社会復帰へのホップ・ステップ・ジャンプ(補足資料)



目の前のその人に必要な支援メニューは何かを考える。メニューは広がる。
資源の開発



補足資料

自己選択
自己決定



○共通のプログラムの中で、一人ひとりに合わせた個別支援(目標設定や振り返り)を行う視点。



《日常生活自立支援》

対象：生活リズムの立て直しや健康管理など生活習慣の形成や回復が必要な方

農作業



働いて汗を流すのってこんなに気持ちがいいことだったんですね。

なりたい自分・ほしい物探しセミナー



【ねらい】

- ・イメージが明確になり、潜在意識に働きかけることができる。
- ・目標を叶えた状態をイメージさせてくれるので、自然とセルフイメージが高まる。

清掃①(ボランティア)



夢が叶いそうな気がします。
夢を持つ、語るなんて何十年ぶりだろう...夢っていいですね。頑張りたい気持ちになりました

調理実習①



人の輪の中に入ることは緊張したけど、担当相談員の励ましで頑張ってきて良かった。久しぶりに他人と目を合わせた。またみんなと会いたい



《社会生活自立支援》

就労の前段階として、社会とのつながりをもつ。仲間づくり、協力して作業を行う事で、気遣いが生まれる。ボランティア活動を通して「ありがとう」と言われる体験から就労意欲の喚起を目指す。コミュニケーション訓練にも力を入れている。できないと思っていたことへも挑戦し、乗り越え自信の回復に繋がる場面も多い。自己理解が深まると同時に、安全な場で勇気を出して挑戦している。面談では見えない適性が見え、その後の支援に活かしている。



保育補助(ボランティア)②

目を大きくあけて話をするだけでも変わることになりました。行動力がつくようになり、少しずつ自信が持てるようになりました。



美化作業・花植え作業②

インプロ② (自己表現のエクササイズ)

6つの力をつけよう!

コミュニケーション力・柔軟性・表現力 行動力・
協調性・発想力



コミュニケーションセミナー①



「ありがとう！」って職員の方に言われました。感謝されるのって何年振りだろう。うれしいものですね。またやりたいです。(けっこう疲れた…)

《就労自立支援》

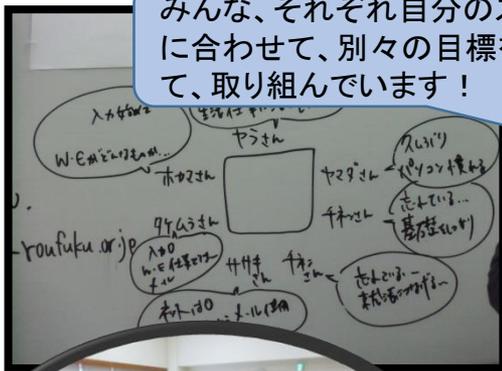
みんな、それぞれ自分のスキルに合わせて、別々の目標を立てて、取り組んでいます！

難しいけど、先生が毎日ていねいに教えてくれます。上達してきてうれしい！

アサーションセミナー



一般就労に向けた実践を意識したトレーニング。コミュニケーションに課題がある方が多いので、実際に職場等で困った経験を基に認知行動療法を活用して偏った認知の修正を促す。求職活動に向けたトレーニングやキャリアプラン、就労に向けたパソコン訓練などを行う。



面接に自信が無い人のための発声と身体のレッスン



パソコン就労セミナー

就労体験



自分の気持ちを素直にかいたり、絵におきかえるのは、難しいけど楽しかった。前に進みたい。

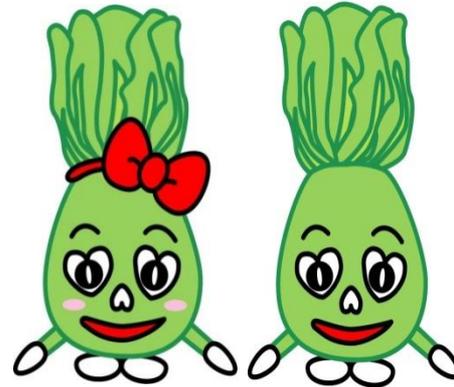
就労準備セミナー (仕事をする上での心構え & キャリアプランニング)



相手の身になって気持ちのいいあいさつなんて考えたこともなかった。とても学びがありました。

SST②(社会技能訓練) コミュニケーション)

地域との連携 実習受入れ



より多く売れるために、「ロメインレタス」のキャラクターを考えて、絵の具で絵を描いてみました。それをパソコンセミナー受講生がきれいにパソコンで作ってくれました。



働ける場があって嬉しいです。苗植えから始まって、収穫・袋詰め、販売までいろいろ経験させていただきました。畑の仕事もそうですが、仕事の幅も広がってきました。何より、かなり体力がついてきました。楽しい！！

【企業実習】 就労準備講習の次のステップ

行政への働きかけで実現！
就労準備講習と企業実習との連携！

- ▶ 適性に合わせた職種、仕事の切り出しなども提案。
- ▶ その方に合わせた時間、場所、内容
意欲喚起2～4時間あり
- ▶ 職場で関わる人へのアプローチ（指導員）
- ▶ ジョブサポート支援
- ▶ その方の状態から、小集団での活動というスモールステップを踏むよりも社会へ出る活動が合う方。

地域の社会資源を活用

就労(実習)を通じた成長・気づき(補足資料)



企業実習で大切にしていること

◎一人ひとりの実習の目的と目標の明確化(スモールステップ)

自立相談支援事業との連携

◎支援員が実習体験をしてマッチング、企業の現場職員との信頼関係構築、ジョブサポート支援(必要に応じて)

◎振り返りを大切に

本人+支援員+職場の担当で振り返り(事業所訪問)

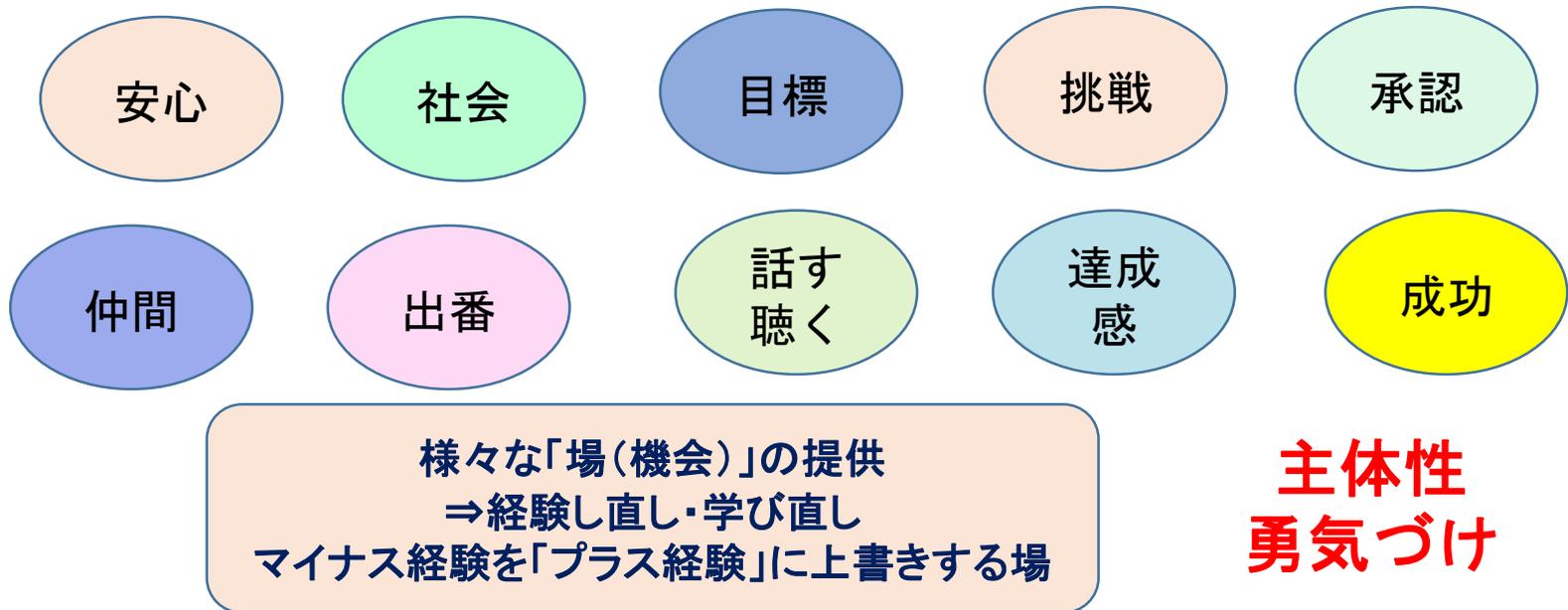
○本人:できた! 次に進めそうな気がする!

○支援員:次につながるアセスメント

就労準備支援事業の場の設定！（補足資料）

自己理解・挑戦・成功体験・経験し直し・自己有用感の醸成
⇒ 自信回復 「就労への基礎能力をつける」

就労準備支援事業の「場」にもとめられること



「スモールステップ」で強みを伸ばし、課題を克服する場

居場所
安心していら
れる場所

スモール
ステップ。

役に立つ

**楽しく
社会参加**

**環境が変われ
ば人は変わる**

仲間

**就労準備支援事業
キーワード**

**地域巻き込
み力**

**経験を
いかす**

わくわく

経験し直し

自立

出番、役割

アセスメント

まとめ

◎意欲の低い人

⇒就労準備講習の入り口は入りやすく！

その人の「興味・能力・価値観・体力・心身の負担・楽しく」

⇒多彩なメニュー

何がその人の意欲喚起のきっかけになるか分からない

目配り・気配り・心配り



◎ステップアップ

⇒自己肯定感を高めるためスモールステップでのメニュー

その段階に応じたメニューが必要

出来た！出来そうな気がする
次のステップへの準備が整う！

◎個別支援(個別アプローチ)をグループ活動の中で

⇒プログラムはあるが、一人ひとりの目標設定と承認

対象者の状態に合わせた多様な支援メニュー



まとめ

- ◎「就労準備支援事業」は
居場所～集団の中での学び～就労体験を通じた学び
「就労準備支援事業」を通してできることはたくさんある。



◎「できない理由」ではなく、「できることから一步一步着実に」

仲間を増やす！ 地域というチームで

- ◎地域にある「社会資源」各機関、各事業との連携
⇒ 相談者のニーズに応える



連携で相談者の可能性が広がる

就労準備講習の場の設定！

参加者は、一人一人が〇〇！



その人の状態に合わせて支援！

支援事例紹介

①年齢を理由に就職を渋っている60代女性

実は…外は危険がいっぱいだと思っていた。

当初の「つまらない」という気持ちが、講習に参加して「楽しみ」に。

細かい作業が好きで集中できる。 ▶▶▶アクセサリ-製造(内職)

②子育て中&うつ病。何かやらなくちゃ…と焦って就活する40代女性

集中力が続かない。頑張りすぎたり、考えすぎたりする。

毎日の講習に参加することで、自身の体調や気持ちに焦りがある事に気付く。

講習参加も他者とのコミュニケーションも「一生懸命」頑張りすぎること、帰宅後の家事が滞る傾向が見られた。就労前に「今、自分に必要な事はうつ病と向き合うこと」と自覚できるよう促す。 ▶▶▶福祉センターのうつ病デイケアへ

③引きこもり15年、就労経験1か月の30代男性

10代の頃からいじめによる不登校で引きこもり。就労経験は県外で製造業1ヶ月のみ。他者とのコミュニケーションが苦手で目を合わせて話せない。

講習中はスタッフとは話すが周りの参加者とは話さない。でも「質問をしてみよう」と提案すると実行する挑戦力がみられた。当初は目標を立てることも出来なかったが、現在は原付免許取得をしたいと本人から発信あり、次へのステップへ向かっている。

▶▶▶企業実習登録し、実習実施予定

支援事例紹介

④長期未就労で発達障がい疑いのある60代男性

5年以上生活保護受給。就労意欲が低く指導命令あり
特性としては、人との距離が近いなど発達障がいの疑いが感じられた。

講習中は他者との会話を楽しみ、興味関心のあるパソコンには集中して取り組む姿勢が感じられた。調理実習では調理経験を活かし周りに包丁の使い方や調理の手順を自主的に教える部分を発揮！

▶▶▶調理関係のお仕事に就職決定！2ヶ月定着中

⑤飲酒が続いて単身60代男性

過去に酒害教育&断酒経験があるも、再飲酒が続きCWの電話や訪問にも音沙汰なし。
他者との会話は好きなので「就労準備講習」には興味を示し、飲酒継続状態のまま当事業に繋がる。

「飲酒状態では参加禁止」と約束し、講習開始4日は断酒して参加。(離脱症状あり)
講習中はスタッフや他参加者との会話を楽しむが、途中、再飲酒&講習欠席が続く。
状況確認の電話を継続する中で「お酒を辞めたい、辛い」との発言がありCWと連携し、依存症デイケア&精神科入院へ繋がる。翌年、本講習再受講。

▶▶▶主治医の指示通り「焦らず」「ゆっくり」と社会参加へ

演習

本人の状態に合わせた
多様なメニューを考えましょう！

- ①3人一組です！
- ②それぞれのグループの状態も異なります。
それぞれのグループのペースで、
演習1～演習6まで、進めてください！
- ③支援員は、ファシリテーターです！
みんなで協力して、多くの意見交換を行い
楽しく、学びを深めてください♪

まとめ

環境(出会い)で人は変わる

キーワード

◎一人ひとりが主役！

対象者に合わせた支援メニュー

◎安心感(信頼する・信頼される)

◎気付き

◎挑戦

◎自己受容・自己肯定感・自己有用感

◎巻き込み力(ひとりより、仲間の存在！)

みんなで支え合える社会、
幸せな社会を目指して！

